

平成 28 年度 第 2 回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

| | |
|-----|------------|
| 法人名 | 株式会社エイプレイス |
| 事業所 | エイプレイス新宿 |

● 開催日時・場所

| | |
|----|----------------------------------|
| 日時 | 平成 28 年 8 月 24 日 (水) 16:00~17:30 |
| 場所 | 新宿コズミックセンター 3 階小会議室 |

● 参加者 (順不同)

| NO | 所属 (役職) | 氏名 |
|----|----------------------|--------|
| 1 | 日本リック新宿 | A 様 |
| 2 | 日本リック新宿 | B 様 |
| 3 | セントケア新宿 | C 様 |
| 4 | K-WORKER 大久保 | D 様 |
| 5 | 白十字訪問看護ステーション | E 様 |
| 6 | 白十字在宅ボランティアの会 | F 様 |
| 7 | ジャパンケアサービス 百人町 | G 様 |
| 8 | ファーコス薬局 | H 様 |
| 9 | ホームケア新宿 | I 様 |
| 10 | エイプレイス新宿 (管理者) | 齋藤 てい子 |
| 11 | エイプレイス新宿 (計画作成責任者) | 和田 篤昌 |
| 12 | エイプレイス新宿 (サービス提供責任者) | 山本 星矢 |
| 13 | 株式会社エイプレイス (統括) | 山本 八寸代 |

● 議事

| NO | 議事内容 |
|----|-----------------|
| 1 | 5~7 月の実績 |
| 2 | 連携先事業所について |
| 3 | 事例発表 |
| 4 | チーム型定期巡回における改善点 |
| 5 | 質疑応答 |

● 記録

| | |
|------|--|
| 議事 1 | 5～7月の実績 |
| | <p>3 事業のうち訪問介護のみ利用者数が減少傾向にあるが、そのほかのサービスでは利用者数が増加しており、全体の利用者数も増加傾向にある</p> <p>また、利用者数増加に伴い、月間の訪問回数も増加している。</p> <p>中でも夜間の随時訪問が大幅に増えているのは、ターミナル期や、急な ADL 低下による転倒・失禁が頻発したご利用者様がいたためである。</p> <p>サービス内容は「排泄介助」が最も多く、続いて「水分補給」、「服薬介助・確認」が頻回に提供されていた。</p> <p>脱水症状への対策として訪問回数を一時的に増やしていたことから、7 月は特に「水分補給」の提供回数が多かった。</p> |
| 議事 2 | 連携先事業所について |
| | <p>連携先訪問介護事業所：18 事業所</p> <p>連携先訪問看護ステーション：11 事業所</p> <p>定期巡回サービスをより円滑に提供できるよう、連携先事業所は引き続き増やしていく予定である。</p> |
| 議事 3 | 事例発表 |
| | <p>【事例 1：ADL 向上】</p> <p>81 歳 男性 独居 要介護 5</p> <p>4 月に転倒し、ベッド上の生活になってしまったため、サービス利用開始。</p> <p>《病歴》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰椎圧迫骨折 ・カリウム低下 ・片足甲に炎症（処置に訪看利用） <p>《サービス開始時の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足の炎症により熱発を繰り返している。 ・栄養状態がよくない。⇒傷の治りが遅く、幻覚症状もみられる。 ・「トイレに行こうとした」「散歩に行こうとした」等の理由で転倒が続いている。 ・エアコンが無い等、住環境が良好ではない。 <p>《改善策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの食事に加え、800～1000ml の水分+栄養剤の摂取。 ・引っ越しの提案・実施。 <p>《結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幻覚症状がなくなり、意思の疎通がスムーズに。 ・足の傷が快方に向かった。 ・体力がつき、デイサービスに行くことが可能になった。 ・引っ越しが実現し、住環境が改善された。 <p>【事例 2：日単位でのサービス変更】</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>96歳 女性 家族同居 要介護5</p> <p>入院されていたため体力が低下しているが、在宅へ戻りたい気持ち強い。</p> <p>《病歴》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・股関節症 ・腹壁膿瘍 ・子宮脱 <p>《サービス開始時の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の都合や、看護の訪問予定がなかなか定まらなかった。 <p>《改善策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係各所の都合に合わせた日単位のスケジュール調整。 ・ご家族では対応が難しい移乗のサービスを追加。 <p>《結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院直後の不安定な時期に、すき間のないケアで支えることが出来た。 ・1ヶ月程でスケジュールが確定し、同居されている娘様が職場に復帰することが出来た。 |
| 議事4 | チーム型定期巡回における改善点 |
| | <p>※前回の会議で挙げた問題の改善報告※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便失禁等で予定されていた時間を過ぎてしまい、焦ってしまうヘルパーがいた。 <p>⇒サービスの途中でエイプレイスのスタッフと交代して頂くことによりフォロー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録端末の種類によっては、ボタンのデザインが異なるため、混乱するヘルパーがいた。 <p>⇒端末の種類ごとにマニュアルを作成し、端末と共に設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護技術のばらつきがあるため、研修を開催してほしい。 <p>⇒6月に実施。今後も定期的な開催する予定。</p> |
| 議事5 | 質疑応答 |
| 質問1 | 主なコール内容はどのようなものか。 |
| 回答1 | 殆どが誤報。真報の中で多い内容が「便失禁」「転倒」。 その他には精神的な不安から押してしまう利用者様もいる。 |
| 質問2 | (事例1について) 夜間の訪問は必要ないのか。 |
| 回答2 | 夜はゆっくり眠りたいというご本人様の意思を尊重している。 ADLが向上したことにより、緊急コール機も使えるようになっているので、何かあった場合は随時対応で支えることになっている。 |
| 質問3 | チーム型定期巡回の場合、同時に何事業所までサービスに入れるのか。 |
| 回答3 | 特に制限はないが、現状(エイプレイスを含め)3事業所が最多である。 |
| 質問4 | 訪問介護から定期巡回へ移行する場合、訪問看護は変えなければならないか。 |
| 回答4 | 連携済み、或いは新たに連携していただけるのであれば、そのままご利用いただける。 |

| | |
|-------|-------|
| 議事録作成 | 山本 星矢 |
|-------|-------|

以上

3